

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～18℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の33%（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週の61%（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり151kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり4.1トンの水揚げで、前週の4.7倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり22kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。五島奈留地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり317kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり1.3トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり99kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヨコワなどが1日1統当たり114kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり65kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区ではマアジが1日1統当たり29kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/25～2/28の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、対馬沖周辺で操業するも今月末で漁期終了となる。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～酒田沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-5号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>